甘くておいしいみかんを小学生たちへ（2月14日）

JAなんすんの組合長らが市役所を訪れ、寿太郎みかんを贈呈しました。小学生3,230人分、約380kgの贈呈です。組合長が「寿太郎は甘くて味が濃いのが特長です。子どもたちに地元の特産物を知ってほしいです」とあいさつすると、教育長は「地元の特産物として授業で勉強しています。大切に育てたみかんを頂けるのは幸せなことです」とお礼を述べていました。

自衛隊の演奏で記念式典を盛り上げる（2月15日）

市民文化センターで自衛隊協力会50周年記念行事と自衛隊による音楽演奏会が行われました。同会は、区長連合会などを役員に加え、自衛隊と地域住民との共存共栄の実現を目的として設立されました。会場では式典の他、太鼓の演舞やラッパ、富士学校音楽隊などの演奏が、屋外では自衛隊車両の展示が行われ、多くの人が見学していました。　　特派員：勝又 しんじ

法務省などから感謝状贈呈　（2月19日）

富岡中学校に法務省と全国人権擁護委員連合会から感謝状が贈呈されました。夏休みに取り組んだ人権作文99編を中学生人権作文コンクールに応募し、活動の啓発に貢献したことに対する感謝状です。人権擁護委員が校長に感謝状を手渡すと、校長は「仲間を大切に、困っている人を助けようという活動を行っています。感謝状は生徒に報告します」と話していました。

富士山信仰とかぐや姫講演会開催　（2月19日）

生涯学習センターで富士山の日記念事業として講演会が開催されました。約50人が参加し、富士山かぐや姫ミュージアム館長が同ミュージアムのリニューアルなどについて講演しました。また、現在の浅間神社の祭神はコノハナサクヤヒメですが、本来はかぐや姫だったことなど、たくさんの興味深い話があり、参加者は聞き入っていました。　　特派員：原 久子

フライングディスクなどを贈呈　（2月27日）

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の沼津支店長らが市役所を訪れ、レクリエーションスポーツ関連物品の贈呈式を行いました。同社は市と締結している協定に基づき、さまざまな分野で市に協力しています。市長は「皆さんのご芳志による寄贈をありがとうございます。東京2020オリンピック競技やイベント会場で活用していきます」とお礼を述べました。

無理をしないで仲良く楽しく地域づくり　（2月28日）

佐野上宿区の「ふれあい上宿」の会員が、コミュニティ活動賞優良賞を受賞し、市長に受賞を報告しました。同会では、登校時の児童への声掛け防犯活動の他、花いっぱい運動、ふれあい上宿デーの開催など会員の生きがいや触れ合いづくりも行っています。事務局の芹沢さんは「無理をせず、これからも仲良く楽しく地域づくりを続けていきます」とあいさつしていました。

県内初！６Ｒをゴミ収集車でＰＲ　（3月2日）

田口ライフサービス㈱がラッピングを施したパッカー車を始動させました。これはRecycle(リサイクル)などの頭文字を６つ取った、６R県民運動という県が推進している事業などをPRするためデザインされました。同社の代表は「目に触れる機会の多いパッカー車にラッピングを施すことで、県などの取り組みをPRしていきたいです」と話していました。

キヌアの特産化に向けた共同研究継続　（3月5日）

市は静岡大学農学部・須山東富士農事組合と新特産物試験栽培に関するパートナーシップ協定を締結しました。今後も連携を図り、共同試験栽培を行っていくことを目的にしています。市長は「特産物となりうるキヌアの栽培で農家の所得向上や耕作放棄地の解消につなげていきたいです」と述べました。締結後、菓子店が試作した菓子の試食を行いました。